

輸出事業計画

※申請者名：朝日共販株式会社、品目：しらす製品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

愛媛県は、全国でもイワシ稚魚（しらすの原料）の漁獲量を誇る産地であるが、漁業従事者の高齢化や人出不足、設備（釜）の老朽化、後継者の担い手不足が深刻になっており、産地の継続が危ぶまれている。このため、イワシ稚魚等の仕入を増幅させ漁業従事者の収入を安定させることが求められており、人口減少社会の中、国内だけではなく今後新たな需要が見込まれるタイ及び台湾への輸出へ注力することとした。

【課題】

- 漁法及び製造工程等の違いによる異物混入
- 輸出先国における食品衛生基準への対応
- 流通販売網の強化
- 輸出先国のターゲットを絞り込んだ商品展開

2. 輸出事業計画の取組内容

異物混入への対応

輸出先国の 食品衛生基準への対応

- ・より精度の高い異物除去を行う生産ラインの構築
- ・FSSC22000認証取得

流通販売網の強化

- ・愛媛県やJETRO事業の活用
- ・商談会や展示会等への参加
- ・ECサイト等への登録

商品展開 (富裕層・中間所得層・日本人、事業者)

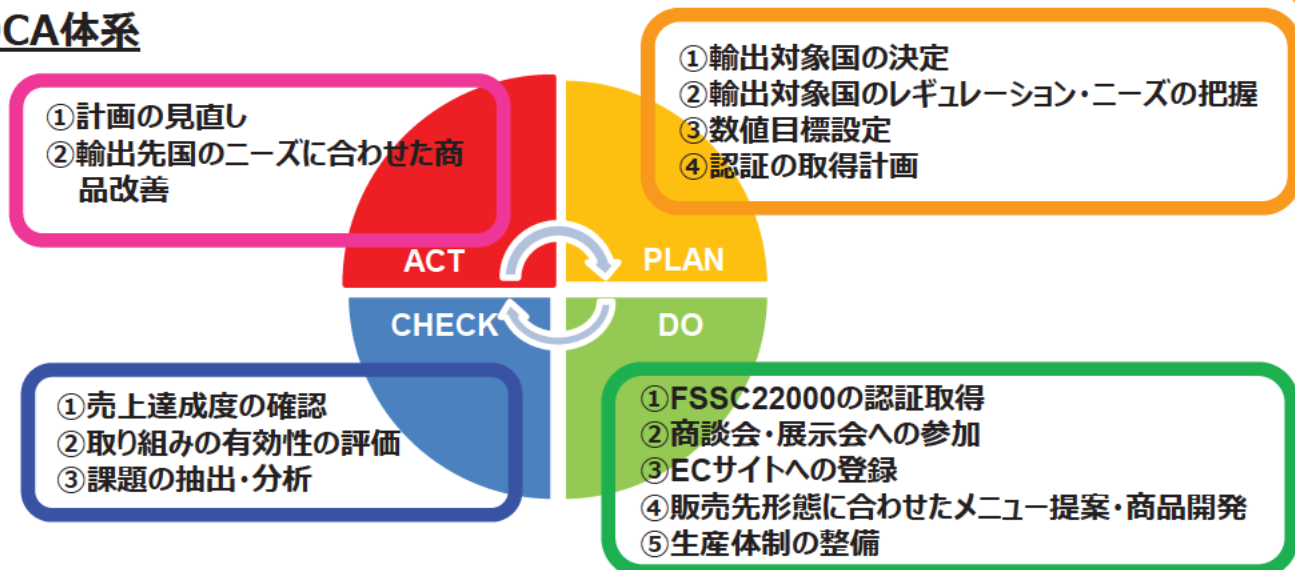
- ・マーケティング（嗜好、購買力、行動傾向、物価、ニーズ）
- ・ターゲットに合わせた商品開発
 外食・中食：しらすサイズ別でのメニュー提案
 日本産品取扱店EC:パック製品の提案、健康効果を謳う
- ・対象国に合わせたローカライズ

輸出事業計画

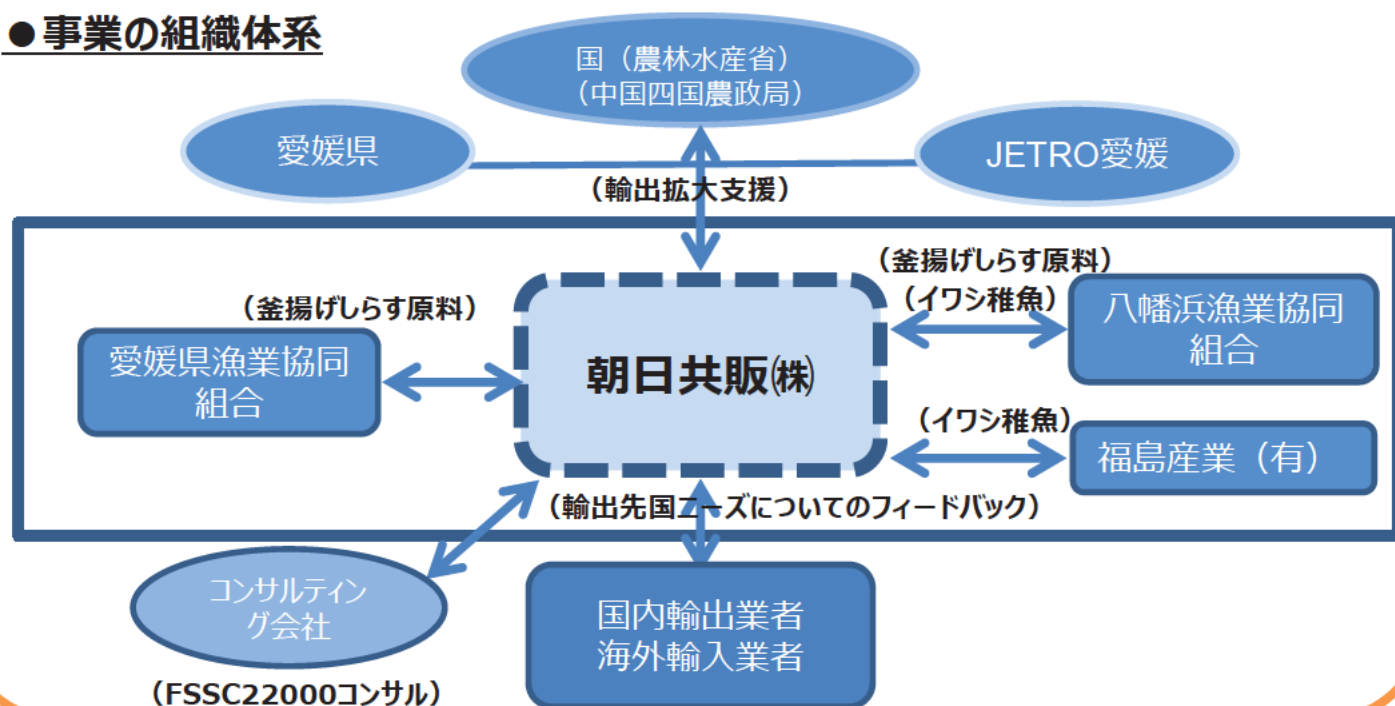
※申請者名：朝日共販株式会社、品目：しらす製品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

●PDCA体系



●事業の組織体系



4. 輸出目標額

●釜あげしらす・ちりめん・生しらす製品販売目標

しらす製品 (釜揚げ・ちりめん)	現状 (2020年度)	目標 (2026年度)	増減
輸出額 (千円)	2,893	53,000	50,107
輸出量 (t)	1	58	57